

施設の設置計画書（解体業用）

事業者名 県庁自動車株式会社
 所在地 茨城県水戸市笠原町1-2-3
 代表者氏名 代表取締役 ○ ○ ○ ○

1 計画の内容（新設，増設等の別にレを付して具体的な計画を記入する。）

新設 施設の増設 保管場増設等による許可敷地の拡大 その他

具体的な計画の概要

一般ユーザー，引取業者から使用済自動車を引取り解体を行う。解体によって生ずる有用部品は，〇〇整備外有用部品市場に，有用金属は〇〇金属商会等に売却する。

2 解体業の実績

有 ・ 無 （ ××年 ×月から事業開始）

3 事業規模

区 分	現 状	設置後の計画
作業員数（人）		12人
処理台数（台／年）		350台／年
計画敷地の面積（㎡）		900㎡

4 協議の概要

(1) 解体前の使用済自動車の保管施設（解体作業場以外の場合）

区 分	既存施設 （現状）①	新設箇所 （新設又は変更）②	設置後の計画 ①+②
保管面積（㎡）		300㎡	300㎡
保管高さ上限（m）		4m	4m
保管量上限（台）		100台	100台
囲い（高さ，材質）		1.8mネットフェンス	1.8mネットフェンス

(2) 廃油，廃液の漏出する恐れのある使用済自動車の保管施設（解体作業場以外の場合）

区 分	既存施設 （現状）①	新設箇所 （新設又は変更）②	設置後の計画 ①+②
保管面積（㎡）		150㎡	150㎡
保管高さ上限（m）		4.5m	4.5m
保管量上限（台，m ³ ）		150台	150台
浸透防止床面構造		鉄筋コンクリート敷 15cm	鉄筋コンクリート敷 15cm
油水分離装置及び排水溝の設置		4槽油水分離装置	4槽油水分離装置

(3) 燃料抜取場所（解体作業場以外の場合）

区 分	既存施設 (現状) ①	新設箇所 (新設又は変更) ②	設置後の計画 ①+②
抜取場所面積 (m ²)			
浸透防止床面構造			
ためます等の容量及 び排水溝の有無			

(4) 解体作業場

区 分	既存施設 (現状) ①	新設箇所 (新設又は変更) ②	設置後の計画 ①+②
作業場面積 (m ²)		200 m ²	200 m ²
廃油, 廃液回収装置		有り	有り
浸透防止床面構造		鉄筋コンクリート敷 15cm	鉄筋コンクリート敷 15cm
油水分離装置及び排 水溝の設置		排水溝新設 油溜桝の設置	排水溝新設 油溜桝の設置
建物等の構造等		鉄骨・平屋	鉄骨・平屋

(5) 取り外した部品の保管設備（解体作業場以外の場所で廃油, 廃液が漏出するおそれのあるものの保管）

区 分	既存施設 (現状) ①	新設箇所 (新設又は変更) ②	設置後の計画 ①+②
保管面積 (m ²)		50 m ²	50 m ²
浸透防止床面構造		コンテナを使用して 保管	コンテナを使用して 保管
雨水防止策等		コンテナを施錠	コンテナを施錠

(6) 解体自動車（廃車ガラ）の保管施設（解体作業場以外の場合）

区 分	既存施設 (現状) ①	新設箇所 (新設又は変更) ②	設置後の計画 ①+②
保管面積 (m ²)		250 m ²	250 m ²
保管高さ上限 (m)		4.5 m	4.5 m
保管量上限 (台)		70台	70台
囲い (高さ, 材質)		1.8m ネットフェンス	1.8m ネットフェンス

5 参考事項

--

施設の設置計画書（破砕業用）

事業者名 県庁自動車株式会社

所在地 茨城県水戸市笠原町1-2-3

代表者氏名 代表取締役 ○ ○ ○ ○

1 計画の内容（新設，既存施設，変更等の別にを付して具体的な計画を記入する）

新設 施設又は設備の増設 保管場増設等による許可敷地の拡大 その他

具体的な計画の概要

現在古物商で廃車ガラを有償で引取り，3方プレスをして鉄スクラップの原料とする。

2 破砕業の実績

有 ・ 無 （ ×年 ×月から事業開始）

3 古物業許可

有 ・ 無 （ ×年 ×月 日許可）

4 事業規模

区 分	現 状	設置後の計画
作業員数（人）		12人
処理方式別解体ガラ 処理台数（台/年）	圧 縮	圧 縮 12,000台/年
	せん断	せん断
	破 砕	破 砕
	合 計	合 計 12,000台/年
計画敷地の面積（㎡）		1,600㎡

5 協議の概要

（1）破砕前処理施設

ア 処理前の解体自動車の保管施設

区 分	既存施設 （現状）①	新設箇所 （新設又は変更）②	設置後の計画 ①+②
保管面積（㎡）		1,000㎡	1,000㎡
保管高さ上限（m）		4.5m	4.5m
保管量上限（台）		500台	500台
囲い（高さ，材質）		2mブロック	2mブロック

イ 圧縮機

区 分	既存施設 (現状) ①	新設箇所 (新設又は変更) ②	設置後の計画 ①+②
基数 (基)		1 基	1 基
据置型 可動型 移動型		1 基	1 基
飛散, 流出, 騒音, 振動対策		作業場内でのみ行う 法令を遵守	作業場内でのみ行う 法令を遵守
処理能力 (トン/日) *		100トン/日	100トン/日
作業時間		8:30~16:00	8:30~16:00

*機械の1日当たりの最大能力

ウ せん断機

区 分	既存施設 (現状) ①	新設箇所 (新設又は変更) ②	設置後の計画 ①+②
基数 (基)			
据置型 可動型 移動型			
飛散・流出, 騒音, 振動 対策			
処理能力 (トン/日) *			
作業時間	: ~ :	: ~ :	: ~ :

*機械の1日当たりの最大能力

エ 処理後の解体自動車の保管施設

区 分	既存施設 (現状) ①	新設箇所 (新設又は変更) ②	設置後の計画 ①+②
保管面積 (m ²)		300m ²	300m ²
保管高さ上限 (m)		4 m	4 m
保管量上限 (台)		150台	150台
囲い (高さ, 材質)		2 mブロック	2 mブロック

(2) 破碎施設

ア 処理前の解体自動車の保管施設

区 分	既存施設 (現状) ①	新設箇所 (新設又は変更) ②	設置後の計画 ①+②
保管面積 (m ²)			
保管高さ上限 (m)			
保管量上限 (台)			
囲い (高さ, 材質)			

イ 破碎施設

区 分	既存施設 (現状) ①	新設箇所 (新設又は変更) ②	設置後の計画 ①+②
基数 (基)			
飛散・流出, 騒音, 振動対策			
処理能力 (トン/日) *			
作業時間	: ~ :	: ~ :	: ~ :

*機械の1日当たりの最大能力

ウ 自動車破碎残さの保管施設

区 分	既存施設 (現状) ①	新設箇所 (新設又は変更) ②	設置後の計画 ①+②
保管面積 (m ²)			
保管高さ上限 (m)			
保管量上限 (m ³)			
浸透防止床面構造			
排水処理施設及び排水溝*			
建物の構造等又は排水処理施設等			
側壁等 (高さ, 材質)			

*「排水処理施設及び排水溝」は自動車破碎残さの保管に伴い汚水が生じ、かつ、当該汚水が事務所から流出するおそれがある場合に必要となる施設。

5 参考事項

--